

CKD



第93期
株主通信
2012.4.1~2013.3.31

CKD株式会社

証券コード :6407

株主の皆様へ



代表取締役社長
堀本 一典

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、2013年4月2日に創立70周年を迎えることができました。70年という長い歴史を刻むことが出来たのも、偏に取引先様、株主様をはじめとする多くの方々のご支援の賜物と深く感謝を申しあげる次第です。

ここに、当社第93期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、期初に震災復興関連需要や政府の消費刺激策により緩やかに持ち直す動きが見られたものの、期中には復興需要が一巡し、エコカー補助金も終了したこと、メモリーを中心とした半導体の設備投資が先送りされたこと、中国向け輸出の減少などから、年後半には経済に減速感が出ました。第4四半期に入り、新政権の経済政策への期待感から、為替が円安に転換し、株価も上昇するなど、景気回復の兆しは出ておりますが、企業活動に対する実質的な効果は、来期以降に現れてくるものと期待されます。

一方外需は、欧州各国の金融不安が長引いていることや、その影響を受けた中国など新興国の経済成長の鈍化に加え、半導体や電子工業の設備投資抑制を受けた東アジア経済の停滞など、東南アジア地域を除けば厳しい環境が続きました。

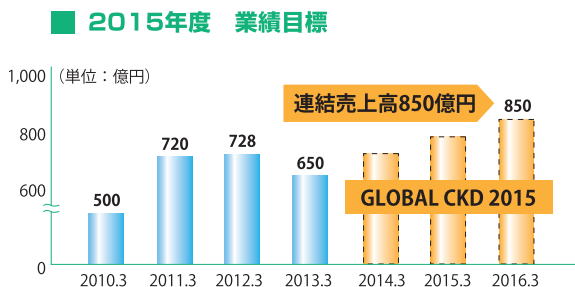
このような状況のもとで、当期における連結業績は、売上高65,031百万円(前期比10.7%減)となりました。売上高の減少から営業利益3,244百万円(前期比46.5%減)、経常利益3,517百万円(前期比43.4%減)、当期純利益2,452百万円(前期比34.5%減)となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。また、昨年12月にお支払した中間配当金1株当たり5円と合わせて、年間配当金は1株当たり10円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、2013年度よりスタートした新中期経営計画『GLOBAL CKD 2015』に基づき、中長期的な経営戦略の中で、次の通り対処すべき課題に取り組んでまいります。



新中期経営計画 GLOBAL CKD 2015

① 商品のGLOBAL化

成長市場として期待される、医療・医薬、新エネルギー、環境業種などのお客様の新たなご要求にお応えできる商品の開発や、お客様の立場で商品の高付加価値化を実現する提案活動を強化してまいります。また、海外市場に向けては、それぞれの地域に合わせた品質と価格の商品を開発し、その地域の要求に適合する商品の供給を実現してまいります。

② 販売のGLOBAL化

海外の成長市場で活動を展開されるお客様に対応できる販売体制を構築します。自動機械部門は薬品自動包装システムと産業機械の海外市場への販売、機器部門は半導体や自動車業界への販売を拡大いたします。

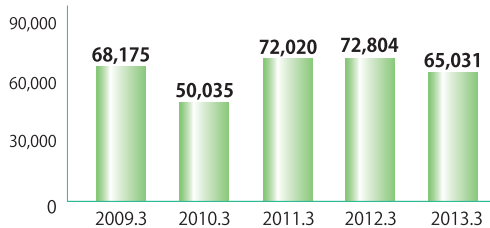
また、自動機械部門では、薬品自動包装システムを中国市場に販売展開するためにサービス体制を構築し、機器部門は、東アジアの次に成長が期待されるインドネシア、ベトナム、インドなどのアジア新興国を中心に販売拠点を構築いたします。

③ 生産のGLOBAL化

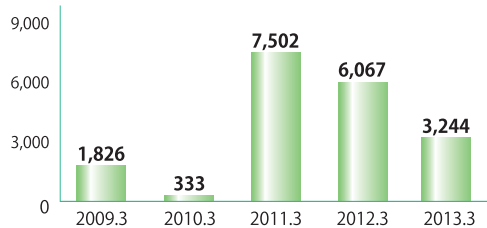
機器部門は、市場が拡大するアジア市場への商品供給体制を整備するために中国新工場を2013年に竣工させます。中国新工場の稼動に合わせ、東アジア市場への供給基地となるよう生産機種拡大を図ってまいります。また、成長するASEAN市場への商品供給のためにタイ工場の生産機能を強化し、供給基地として機能させます。同時に、当社グループの生産の中核となる国内生産拠点は、新たな商品開発と共に生産性と品質向上で海外工場の先導役となるよう努めてまいります。

財務ハイライト(連結)

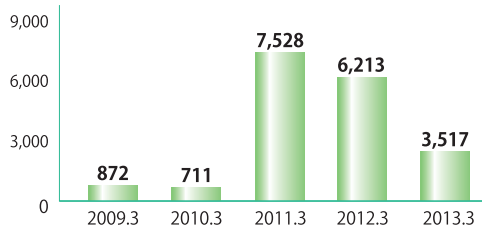
売上高 (単位: 百万円)



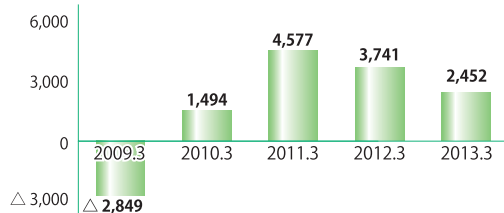
営業利益 (単位: 百万円)



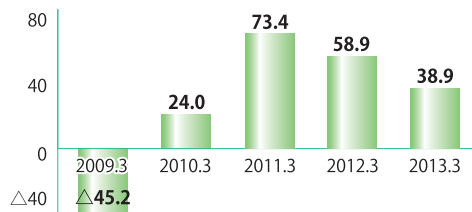
経常利益 (単位: 百万円)



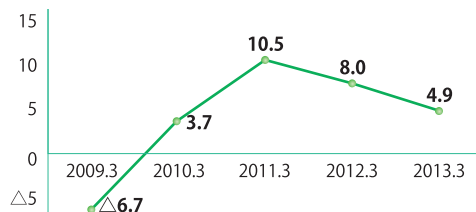
当期純利益 (単位: 百万円)



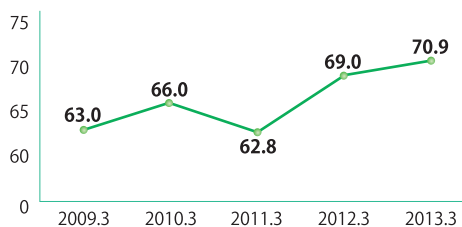
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



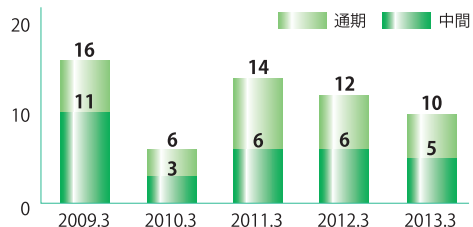
自己資本利益率(ROE) (単位: %)



自己資本比率 (単位: %)



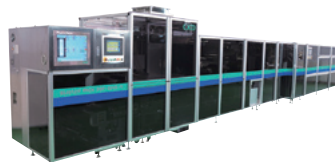
配当金 (単位: 円)



TOPICS 1 薬品自動包装システム

当社は薬品自動包装システムにおいて国内で高いシェアを占めており、今後の拡大が見込まれる中国市場向けに「エコプリスタFBP-600E-V」を開発いたしました。本製品は、高い品質と生産性はそのままに、中国市場に合った低価格を実現しております。

さらに、2012年度はCKD中国において自動包装システムのユニットも現地生産を開始いたしました。今後も自動化技術で社会に貢献し、グローバル事業の拡大を加速してまいります。



TOPICS 2 三次元はんだ印刷検査機

三次元はんだ印刷検査機「VPシリーズ」の拡充を進め、アジアでの高い生産性の追求に応えるデュアルレーン対応の三次元はんだ印刷検査機「VP5200MD-V」や、国内の微細化先端技術に応えるICパッケージ向けの「VPB-100」を開発いたしました。

また、2012年度は、CKD中国において「VPシリーズ」の現地生産及び完成品出荷を開始いたしました。



TOPICS 3 電動アクチュエータ「KBZシリーズ」

高速移動、高精度な位置決めを可能とした小型電動アクチュエータ「KBZシリーズ」を発売いたしました。本製品は、お客様の要求に応じてスライダ、テーブル、ロッドの3タイプを揃えており、サーボモーター用センサにレゾルバを採用しましたので粉塵やオイルミストなどの環境下でも安定した動作が期待できます。

電動アクチュエータは、省エネルギーを実現する商品として近年急速に普及しています。当社は今後も電動商品を充実させて社会に貢献してまいります。



TOPICS 4 薬液用エアオペレイトバルブ「LMDシリーズ」

当社は薬液用バルブのリーディングカンパニーとして、半導体装置メーカー様を中心に長年ご愛顧いただいております。そこで培った流体制御技術を活かし、ご好評いただいております薬液用エアオペレイトバルブ「AMDシリーズ」に加えて、施工性に優れたフレアタイプの新継手を採用した薬液用エアオペレイトバルブ「LMDシリーズ」を開発いたしました。

本製品は液晶パネル、太陽電池、LEDなどのエレクトロニクス市場向けに適正品質・適正コストを追求することでお客様のニーズにお応えしております。



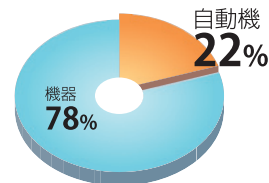
自動機械事業

自動機械部門につきましては、主力商品の薬品自動包装システムは、政府によるジェネリック医薬品普及促進と医療用医薬品安全対応への設備投資が行われたため、売上が増加いたしました。一方で、期待されたリチウムイオン電池製造システムの売上は、EV(電気自動車)の普及遅れから車載用電池の設備投資が見送られた影響で減少いたしました。

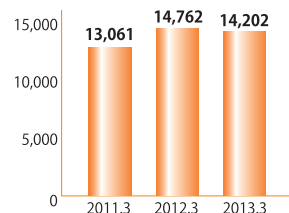
また、大規模な設備投資が続いてきた大手EMS(電子機器受託生産企業)や情報通信機器のセットメーカーの設備の投資が下期に抑制された影響を受け、三次元はんだ印刷検査機の売上も減少しております。

その結果、売上高は14,202百万円(前期比3.8%減)、営業利益は1,476百万円(前期比28.1%減)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● 自動包装システム



薬品包装



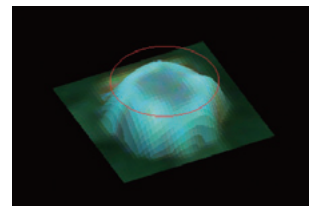
医療機器包装



● リチウムイオン電池製造システム



● 三次元はんだ印刷検査機



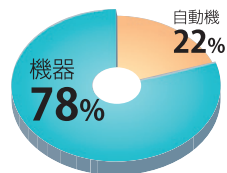
機器事業

機器部門につきましては、国内市場では、市場拡大が続く医療用分析装置向け、車載用やスマートフォン用が好調だった電子部品業界向け、環境対応車を中心とした輸送機械業界向けの売上は増加いたしました。一方、需給バランスの調整により設備投資が抑制された半導体、二次電池、太陽電池関連向けの売上は減少いたしました。また、輸出増加により好調を維持してきた工作機械向けの売上も、下期には減少に転じました。

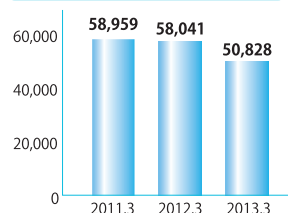
海外市場では、自動車関連を中心とした日系企業の進出や、生産能力増強への設備投資が続く東南アジア、そして経済回復による米国の売上は増加いたしました。一方、欧州は金融不安の影響が続き、東アジアは半導体メーカーの設備投資抑制や欧州金融不安の影響を受けたため、売上はそれぞれ減少いたしました。

その結果、売上高は50,828百万円(前期比12.4%減)、営業利益は4,109百万円(前期比34.0%減)となりました。

売上高構成比



売上高推移 (単位: 百万円)



● ファインシステム機器

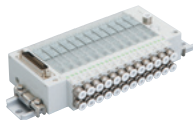


● 流体制御機器

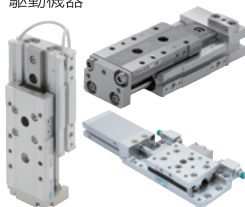


● 空気圧機器

制御機器



駆動機器



関連機器



● 省力機器



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当 期 2013年3月31日現在	前 期 2012年3月31日現在
資産の部		
流動資産	47,582	46,863
現金及び預金	7,322	6,059
受取手形及び売掛金	16,294	18,466
営業未収入金	2,355	3,538
有価証券	3,000	—
商品及び製品	3,915	3,816
仕掛品	2,072	1,815
原材料及び貯蔵品	10,192	11,217
繰延税金資産	1,167	1,350
その他	1,332	702
貸倒引当金	△71	△ 103
固定資産	24,160	23,216
有形固定資産	18,342	17,977
建物及び構築物	7,178	7,668
機械装置及び運搬具	4,547	4,767
工具、器具及び備品	677	798
土地	4,463	4,451
リース資産	106	63
建設仮勘定	1,369	227
無形固定資産	823	818
投資その他の資産	4,994	4,420
投資有価証券	3,932	3,707
繰延税金資産	178	87
その他	917	733
貸倒引当金	△33	△ 106
資産合計	71,742	70,079

科 目	当 期 2013年3月31日現在	前 期 2012年3月31日現在
負債の部		
流動負債	16,804	18,855
支払手形及び買掛金	8,035	9,335
短期借入金	1,789	2,023
1年内返済予定の長期借入金	1,120	700
リース債務	47	24
未払費用	1,971	2,162
未払法人税等	201	859
賞与引当金	73	55
製品保証引当金	293	368
受注損失引当金	151	147
その他	3,120	3,179
固定負債	4,085	2,901
長期借入金	2,161	1,317
リース債務	63	40
繰延税金負債	567	341
退職給付引当金	118	99
資産除去債務	134	131
その他	1,039	970
負債合計	20,890	21,757
純資産の部		
株主資本	50,194	48,560
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,735
利益剰余金	31,273	29,520
自己株式	△4,832	△ 4,710
その他の包括利益累計額	658	△ 238
その他有価証券評価差額金	622	498
為替換算調整勘定	36	△ 736
純資産合計	50,852	48,322
負債純資産合計	71,742	70,079

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2012年4月1日 至:2013年3月31日	自:2011年4月1日 至:2012年3月31日
売上高	65,031	72,804
売上原価	48,008	53,148
売上総利益	17,022	19,655
販売費及び一般管理費	13,778	13,588
営業利益	3,244	6,067
営業外収益	536	452
営業外費用	262	307
経常利益	3,517	6,213
特別利益	3	55
特別損失	18	57
税金等調整前当期純利益	3,502	6,211
法人税、住民税及び事業税	808	2,346
法人税等調整額	241	123
少数株主損益調整前当期純利益	2,452	3,741
当期純利益	2,452	3,741

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:2012年4月1日 至:2013年3月31日	自:2011年4月1日 至:2012年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	7,008	3,775
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,017	△3,020
財務活動による キャッシュ・フロー	△57	△2,450
現金及び現金同等物に 係る換算差額	286	△71
現金及び現金同等物の 増減額(減少△)	2,219	△1,767
現金及び現金同等物の 期首残高	5,961	7,728
現金及び現金同等物の 期末残高	8,180	5,961

連結株主資本等変動計算書 当期(自2012年4月1日 至2013年3月31日)

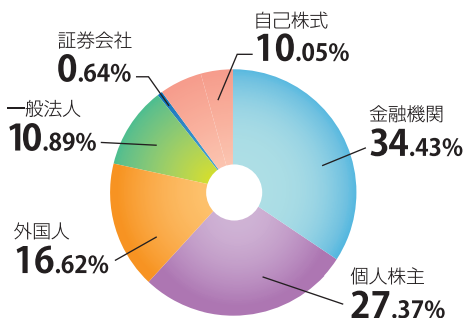
単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	11,016	12,735	29,520	△4,710	48,560	498	△736	△238	48,322
当期変動額									
剰余金の配当			△692		△692				△692
当期純利益			2,452		2,452				2,452
自己株式の取得				△492	△492				△492
自己株式の処分		△0		370	370				370
利益剰余金から資本剰余金への振替		2	△2		-				-
従業員奨励福利基金等			△4		△4				△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						123	773	896	896
当期変動額合計		2	1,752	△121	1,633	123	773	896	2,529
当期末残高	11,016	12,737	31,273	△4,832	50,194	622	36	658	50,852

会社概要

株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000 株
 発行済株式総数 69,429,349 株
 株主数 10,362 名
 所有者別株式数の分布



大株主 (2013年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	5,525	8.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,867	6.19
CKD持株会	2,971	4.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,395	3.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,125	3.40
住友生命保険相互会社	1,914	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,610	2.58
株式会社三井住友銀行	1,581	2.53
CKD協力企業投資会	1,436	2.30
第一生命保険株式会社	1,400	2.24

(注) 上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。

会社概要 (2013年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話: (0568)77-1111
 従業員数 1,937名(連結3,273名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

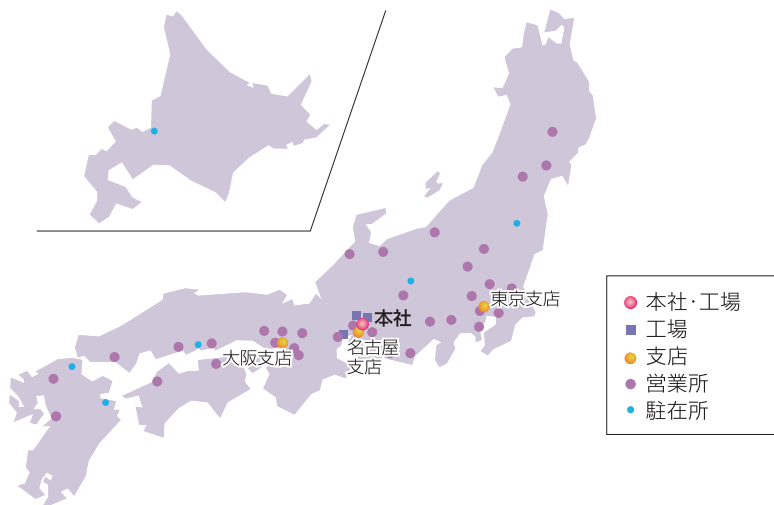
役員 (2013年6月21日現在)

取締役	執行役員
代表取締役社長 梶本 一典	常務執行役員 野澤 好令
代表取締役 野澤 好令	常務執行役員 金田 堅
取締役 徳田 重友	常務執行役員 塚原 正彦
取締役 内永 恭一	執行役員 徳田 重友
取締役 西尾 竜也	執行役員 内永 恭一
社外取締役 高畑 千秋	執行役員 西尾 竜也
社外取締役 加川 純一	執行役員 高橋 卓也
	執行役員 永松 昌裕
	執行役員 山内 吉一
監査役	執行役員 種瀬 雅久
常勤監査役 坪井 和巳	執行役員 小島 章裕
社外監査役 芝吹 勝行	執行役員 市村 理明
社外監査役 林 公一	執行役員 湯原 真司
社外監査役 南谷 直毅	

グローバルネットワーク



国内ネットワーク



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所及び名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
ホームページアドレス	http://www.ckd.co.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 ※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となりました。
(ホームページアドレス)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

自動化で未来を拓く

CKD